

---

# 少女と龍

M A Y U K A

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

少女と龍

### 【Nコード】

N9982E

### 【作者名】

MAYUKA

### 【あらすじ】

長かった魔空戦争が終わった翌年産まれた双子の物語

## マオとりゅうりゅう

### 「1」双子の誕生

長かった魔空戦争が終わった翌年 エンドラの国にあるイチゴの森は双子の誕生で沸きかえっていた。

ラマオダは生まれたばかりの赤子を妖精神ヤナホイに預けていたのだ、しかし生まれた子は不思議界ではたいへん珍しい紫の瞳をした女の双子だったのである。ある日乳母の精霊のニイガスがおつかいの帰りにルアナン山（ルイクスとの国境近くにある山）を飛んでいた時だった 突然の突風でバランスを崩し、双子の一人を落つことしてしまったのだ、慌てたニイガスはすぐに村の皆を集め探したが何故か赤子は見つかる事は無かったのである。

### 「2」妖精マオ

それから何年もたちマオと名づけられた双子の一人は3才（妖精年齢）になっていた。マオは親友のなりナ（黒猫の妖精）と一緒にヤナホイの使いでヴィーナスの丘にある泉水で聖水を酌んだ帰り道、いつものように沼に住む仲良しの龍と会話を楽しんでいたのだった 龍はこの世界に戦争が起るずっと昔から住んでいてまだ幼かったマオが神龍の事を「りゅうりゅう」と呼んで以来の付き合いであった。 「マオおまえの母はかつてこのエンドラの国の戦士だったのじゃ、おまえもその血を受け継いでいる」と龍の話はいつも小さいマオには良く分からなかったが それでもマオはりゅうりゅうのことが大好きなのであった。

「そんじゃーりゅうりゅう そろそろかえないとヤナホイ達が心

配するので今日は帰るわ、また明日来るわね」マオはそう言うとなりナと共に来た道を引き返して行った 神龍は「帰るのなら送って行くから待っておいで」と言つと小女を捕まえ背中に乗せるとイチゴの森を目指して飛んでいったのであった。

やがてこの子が成長し、不思議界を救う事になるのだが、それはまた別の機会に話そう。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9982e/>

---

少女と龍

2011年1月20日00時15分発行